科目名	情報通信技術と倫理	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間	15

＜科目設定理由＞

情報通信技術（ICT）の発展に伴い、今日の保健・医療・福祉の現場ではパソコンやタブレットなどの情報端末が活用されている。情報通信技術（ICT）の発展は医療機器の高度化を促進しているのみならず、遠隔的な診療や保健指導・支援を可能にしている。また、分野や機関・施設をまたぐシームレスな情報共有・連携を実現し、対象の個別性に合った最適な保健・医療・福祉の提供が期待されている。そのため、看護師にとって情報通信技術（ICT）を活用するための基礎的能力の獲得は不可欠なものといえる。看護師は「情報」とは何かを十分に理解したうえで「情報」を看護実践に活かしていかなくてはならない。そのために、「情報」の活用と保護のしかたについて知ることの意義は大きく重要である。

情報通信技術（ICT）の発展により、私たちはさまざまな情報を入手できる環境にある。そのなかから信頼性が、高く、価値のある情報を選択する能力を身につけることは、科学的根拠と倫理に基づく看護実践および対象の権利擁護の基盤となるものと考え科目を設定する。

学習目標	①情報通信技術（ICT）とは何かがわかる。 ②情報通信技術（ICT）の発展が保健医療福祉の現場にもたらす有効性がわかる。 ③情報通信技術（ICT）を活用し入手した情報を適切に管理するための知識と方法がわかる。 ④保健医療福祉の現場において情報通信技術（ICT）を活用することの課題が考察できる。
学習内容	1. ICTとは何か　…ICTの特徴と能力 2. 保健医療福祉分野におけるサービス向上のためのICT活用の現状 3. 医療における情報システム 4. 情報倫理と医療　…著作権・プライバシー権・守秘義務 5. 個人情報の保護　…医療従事者の義務・情報の利用の仕方 6. コンピュータリテラシーとセキュリティ 7. 保健医療福祉の現場において情報通信技術（ICT）を活用することの課題の考察（グループワーク）
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	筆記試験および授業（グループワーク）への参加度などを勘案する。
テキスト	系統看護学講座　別巻「看護情報学」医学書院
参考資料・図書	授業内で適宜提示する
履修上の留意事項・受講条件	